

【資料4-1】

平成25年9月9日
東京電力株式会社

地元漁協等との調整状況について

- 平成25年5月30日から本日までにおいて、地元漁協等（福島県内の漁業事業者等）に対しては、累計15回のご説明を行っております。
- 主なご説明内容は「地下水バイパス」「タービン建屋東側の汚染状況」「汚染水タンクの水漏れ」の3点です。
- 詳細は、別表をご参照願います。

以 上

地元漁協等へのご説明実績

日付	相手先等	説明項目		
		地下水 バイパス	タービン 建屋東側 汚染状況	汚染水 タンク 水漏れ
5月30日	いわき市漁協説明会	○		
6月5日	地下水バイパス計画に関する説明会 (資源エネルギー庁主催、福島市・いわき市)	○		
6月7日	相馬双葉漁協説明会	○		
6月13日	福島県漁連理事会	○		
6月24日	福島県漁連組合長会議	○	○	
7月23日	いわき市漁協説明会		○	
7月24日	相馬双葉漁協説明会		○	
7月26日	福島県漁連組合長会議		○	
8月20日	いわき市漁協説明会	○	○	○
8月22日	相馬双葉漁協試験操業委員会	○	○	○
8月23日	福島県漁連復興協議会	○	○	○
8月28日	福島県漁連組合長会議	○	○	○
8月29日	全漁連、福島県漁連・宮城県漁協・ 茨城沿海地区漁連等へのご説明	○	○	○
9月3日	相馬双葉漁協説明会	○	○	○
9月4日	全漁連会長、福島県漁連会長による 福島第一原子力発電所ご視察	○	○	○

平成 25 年 9 月 9 日
東京電力株式会社

汚染水問題に関する対外的な情報提供・広報について

1. 公表・記者会見

◆汚染水問題に関する主な公表と経営層による記者会見実績

<直近の実績>

- 7 / 2 2 1～4号機タービン建屋東側での汚染水海洋流出(7/19に判断)を公表
- 7 / 2 6 社長(廣瀬)、常務(姉川)による記者会見[本店]
 - ・ 第四回原子力改革監視委員会、汚染水海洋流出のお詫びとご説明
- 8 / 2 1～4号機タービン建屋東側で流出した汚染水のトリチウム量の試算値(最大約 40 兆ベクレル)を公表
- 8 / 1 9 H4エリアタンクでの汚染水漏れ(水溜まり確認)を公表
- 8 / 2 0 H4エリアタンク汚染水の漏えい量の再評価(約 120L→約 300t)を公表
- 8 / 2 4 漏えいタンクが再利用したものであることを公表
- 8 / 2 6 社長(廣瀬)、副社長(相澤・石崎)、福島第一安定化センター所長(高橋)による記者会見[J ヴィレッジ]
 - ・ 「汚染水・タンク対策本部」の設置について

◆当社リスクコミュニケーターによる定例会見の中で、汚染水問題について説明するとともに、必要に応じて臨時会見を行っている。

[定例会見]

東京(月・水・金曜日の 17:30～)

福島(月から金曜日まで毎日 10:00～、18:00～)

[臨時会見(直近の実績)]

- 8 / 2 0 (火) 東京(福島は定例レク)
 - ・ H4エリアタンク汚染水の漏えい量の再評価(約 120L→約 300t)を公表
- 8 / 2 4 (土) 東京・福島
 - ・ 漏えいタンクが再利用したものであることを公表

- ◆福島復興本社代表(石崎)による定例記者会見(毎月1回)において、福島復興に向けた取り組み状況の報告と合わせ、汚染水問題についてもお詫びとご説明を行っている。

<直近の実績>

7/25、8/29

- ◆記者会見については、福島での日々の定例記者レクを除き、全て当社HPにて動画を公開している。

- ◆新たな事実が判明した際は、速やかにマスコミに対して一斉メールを送信するとともに、マスコミへの速やかな情報提供を実施するとともに、24時間体制での問い合わせ対応を行っている。

2. 当社経営層のTV出演による説明

当社経営層からの汚染水問題に関するお詫びとご説明の場を設け、広く社会の皆さまに当社の取り組みの現状をお伝えしている。

<直近の実績>

8/21 副社長(相澤) BSフジ「プライムニュース」

8/28 副社長(相澤) 福島テレビ

9/4 副社長(相澤) TBS「みのもんたの朝ズバッ！」

3. 地元住民向け説明資料の作成

自治体広報誌への折込み資料を定期的に作成し、汚染水問題について地元の皆さまへ情報提供している。

※折込み自治体：広野町、葛尾村、浪江町、双葉町、大熊町、楢葉町、川内村

<直近の実績>

8/15 1～4号機タービン建屋東側からの汚染水海洋流出について

9/3 H4エリアタンクからの汚染水漏えいについて

以上